

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

当社では従来より、感染症対策を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡がりの懸念を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。

【職員の健康チェックを徹底しています。】

- ✦ 日々の実施している健康チェックに加えて、出勤前・出勤時に体温測定を徹底しています。

【職員の手指消毒を徹底しています。】

- ✦ 職員の出勤時、献血会場入退室時。
- ✦ 献血受付時、問診時、献血カード更新時。
- ✦ 看護師は献血者ごとに手袋を交換しています。

【献血会場の良好な衛生環境を保持しています。】

- ✦ 献血会場にて使用する機材は日々、消毒液を用いて清掃しています。
- ✦ 献血会場の入口で体温測定をするなど、良好な衛生環境に配慮した会場設営をしています。

《皆様へのお願い》

(付き添いの方もお願いします。)

- ◇ 献血会場では入口に備えている消毒液にて手指消毒をお願いしています。
- ◇ 入口にて体温測定を実施しています。
(発熱が確認された方については献血会場への入場をご遠慮いただいています。)

新型コロナウイルスの感染の拡大が懸念される現在でも、毎日約 3,000 人の患者さんが輸血を必要としています。尊い命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に関する基礎知識

1. 新型コロナウイルス感染症は、飛沫や接触によってうつる感染症です。
2. 新型コロナウイルスは、症状の出していない方（潜伏期にある方）から感染することはまれであると考えます。
3. 新型コロナウイルスは、口や目、鼻などの粘膜に付着することにより感染しますので、手洗い、手指消毒等が有効な感染防止となります。
4. 一般のマスクの着用で新型コロナウイルスへの感染を防ぐことはできません。しかし、咳やくしゃみなどによる飛沫の拡散を防ぎますので、感染の拡がりを抑えるのに一定の効果があります。

献血会場での安全対策

- ◎感染者や感染の疑いのある方の献血会場への入場をお断りしています。
 - ①入口での注意喚起（写真①）
 - ②体温測定（写真②）
 - ③手指消毒（写真③）
 - ④お願いパンフレット（写真④）
- ◎会場入口での手指消毒を徹底し、接触感染を予防します。
（入口の他にも要所に消毒液を設置しています。）
- ◎献血にご協力いただく方には、健康状態を正確にお答えいただくなど責任ある献血をお願いしています。

「新型コロナウイルス感染症」が発生しています。

以下に該当する方は「献血」をご遠慮いただいております。

- ◆ 海外から帰国して「4週間以内」の方
- ◆ 発熱や咳、呼吸困難などの呼吸器症状等のある方
- ◆ 新型コロナウイルス感染症（または感染疑い）と診断された方と、4週間以内に濃厚な接触*があった方
- ◆ 新型コロナウイルス感染症（または感染疑い）と診断された方

*「濃厚接触」とは、必ずしも接触を指すのではなく、手で触れること、そばで対談や食事することなどが含まれます（目安として2メートル）と接触した場面を指します。（厚生労働省 新型コロナウイルスに関するQ&Aが満載）

〇〇赤十字血液センター



お願い!

献血を受ける皆様を守るために「責任ある献血者」をお願いします。
※「責任ある献血者」とは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染リスクを低減するために、以下の条件を満たす方を指します。

次に該当する方は献血をご遠慮ください

- ✓ 3週間以上、発熱や咳、呼吸困難などの呼吸器症状等があった方
- ✓ 4週間以内、海外から帰国（入国）した方
- ✓ 1週間以内、上記の症状を併発された方
- ✓ イギリス渡航が目的の方
- ✓ 6ヶ月以内、下記に該当する方
 - ① 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の濃厚な接触があった方
 - ② 発熱、咳、呼吸困難などの呼吸器症状等があった方
 - ③ 海外渡航（イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ポルトガル、スイス、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ）

※また、下記に該当する方
 ① 発熱、咳、呼吸困難などの呼吸器症状等があった方
 ② 発熱、咳、呼吸困難などの呼吸器症状等があった方
 ③ 海外渡航（イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ポルトガル、スイス、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ）

✓ 下記以外の条件に該当し、発熱、咳、呼吸困難などの呼吸器症状等がない、発熱や咳、呼吸困難などの呼吸器症状等がない方（1週間以内）に該当しては、必ずしも濃厚な接触があった方とは限りません。また、海外渡航した方でも、必ずしも濃厚な接触があった方とは限りません。また、海外渡航した方でも、必ずしも濃厚な接触があった方とは限りません。

✓ ソフトウェア検査（COVID-19）と診断され、発熱や咳、呼吸困難などの呼吸器症状等がない方

次に該当する方は献血前にお申し出ください

- ✓ 3週間以内、海外渡航した方
- ✓ 海外渡航について
 3週間以内、海外渡航（イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ポルトガル、スイス、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ）を予定している方は、必ず事前に献血センターまでご連絡ください。

※献血センターによっては、献血前検査により、献血を中止する場合がございます。

2020年10月版

写真①

写真②

写真③

写真④

Q1 献血会場で感染することはないのか？

A1 以下の対策により安全な会場設営に努めています。

体温測定、手指消毒、会場内での消毒及び清掃を徹底し感染防止に細心の注意を払っています。

Q2 日赤職員から感染する可能性がないのか？

A2 体温測定、手指消毒、会場の消毒及び清掃を徹底しています。看護師は献血者毎に手袋を交換しています。

Q3 既に感染している献血者が無自覚で献血会場に来ることはないのか？

A3 献血会場入口での体温測定で、発熱が認められる方及び以下の項目に該当する方は、会場への入場をご遠慮いただいています。

- ・海外から帰国してから4週間以内の方
- ・発熱や咳、呼吸困難などの呼吸器症状等のある方
- ・新型コロナウイルス感染症（または感染疑い）と診断された方と、4週間以内に濃厚な接触があった方。

Q4 これまでに感染した方が献血に来た事例はあるのか？

A4 ありません。また、万が一来られた場合は、献血をご辞退いただいています。

Q5 献血実施後に、社内で献血協力者以外の社員に感染が確認された場合はどのような対応を取ればいいのか？

A5 血液センターへのご連絡は不要です。献血された方が、献血後4週間以内に医療機関で新型コロナウイルス感染症と診断された場合は、血液センターへのご連絡をお願いしています。

Q6 献血することによって、その後感染しやすくなるのか？

A6 そのようなことはありません。

Q7 新型コロナウイルス対応として献血を中止もしくは延期したいが？

A7 献血会場の安全対策は万全を期していますので、予定どおり是非献血にご協力をお願いします。